



# 令和7年度 阿見町立阿見第二小学校 グランドデザイン

やさしく  
かしこく  
たくましく

## 本県教育の目標

ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう

じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う

郷土を愛し協力しあう心を育てる

## 【本校の教育目標】

主体的に学び 心やさしくたくましい児童を育てる

## 【学校経営のテーマ】

児童・教師・保護者・地域が互いに信頼し合える学校づくり

○教職員がチームとなって、子どもの学びと育ちを支援できる学校づくり

○教職員・保護者・地域が子どもたちのために思いを語り、協働できる学校づくり

## 【めざす学校像】

「子どもも先生も元気で活力ある学校」「子供の居場所となる学校」

## 阿見町教育の基本理念

学びあい 支えあい  
心を育む人づくり

- 確かな学びを育む
- 豊かな心と健やかな体を育む
- 時代の変化に対応する能力を育む
- 多様な連携でまちの教育力を高める
- 安全で安心して学べる教育環境を創る

## 児童

- ㊦ あいさつは自分から元気よく
- ㊧ 耳を傾け、話をしっかりと聞く
- ㊨ だまって掃除を黙々と
- ㊩ いつも本気でチャレンジ
- ㊪ にこにこ言葉でみんな笑顔

## 元気・本気・思いやり

## 【組織目標】

- 探究的な学びを通して、「わかった・できた」喜びを味わえる授業づくり
- 児童に活躍の場をつくり、認め合うことで自己有用感を育む教育活動の充実

## 教職員

- ☆活力に満ち、笑顔で子どもたちと接することができる
- ☆子どもたちとともに学び、成長する(教師の資質向上)
- ☆本気で考え、「チーム二小」として、仲間の分まで走る
- ☆子どもたちの「思い」や「自分らしさ」を大切に
- ☆働き方や学校運営について、改革意識をもち、実践する

## やさしく【かかわりの中で】

- 温かい人間関係を基盤とした学級づくり
  - ・互いを認め合い、励まし合い、支え合うことで自己有用感を育む学級経営
- 居場所づくりと絆づくりへの支援
- 人権意識の高揚(自分も他の人も大切にすること。違いを大切にすること。)
- いじめの未然防止と早期発見、不登校改善を目指した児童支援
- 委員会活動、係活動、学級遊び、縦割班活動の工夫・充実(主体性の育成)
- 無言清掃活動の継続指導

## 【数値目標】

・学校生活は楽しい	88%
・自分から進んであいさつができる	92%
・にこにこ言葉を使うことができる	92%
・学校には自分の居場所がある	90%
・自分みんなの役に立っている	80%
・自分や周りの人を大切に	90%

## かしこく【楽しい授業づくり】

- 主体的・対話的で深い学びを実現するための指導過程の工夫と改善
- ・阿見町授業スタンダードの推進
- ・探究的な学びの充実
  - ・試行錯誤、アウトプット、まとめと振り返り
- ・ICT機器の効果的活用
- 自分の考えを伝え合う活動の日常化
- ユニバーサルデザインによる授業展開
- 読書活動の推進、学校図書館の積極的活用
- 家庭学習の意欲付けと習慣化
  - ・学び方を身に付ける指導、手引きの活用

## 【数値目標】

・授業が楽しい	85%
・授業で「わかった・できた」喜びを味わうことができる	92%
・進んで自分の考えを伝え合う	85%
・進んで読書をする	85%
・目標をもって家庭学習に取り組んだ	85%

## たくましく【伸びよう鍛えよう】

- 基本的生活習慣を確立する指導
  - ・早寝 早起き 朝ご飯の奨励 立腰教育
- 学校内外での安全な生活の確保
  - ・養護教諭や外部講師による専門的指導
- 健康・安全に関する自己管理能力の育成
- 運動量を確保した体育授業の充実
  - ・実態に応じた教材や教具の工夫
- 休み時間の外遊びの奨励
- 体育科学習における ICT の効果的活用
- 体力アップ推進プランの改善・充実
- SOS の出し方に関する指導

## 【数値目標】

・早寝 早起き 朝ご飯	85%
・立腰を心がけた生活	90%
・休み時間の外遊び	83%
・体カテストA+B	55%
・安全な登下校を心がけた	95%
・困ったときに相談できる	90%

## 家庭・地域との連携・協働による地域とともにある学校づくり



- コミュニティ・スクール【学校運営協議会】の推進
  - ・保護者や地域の方への感謝の心【ありがとうの会】
  - ・児童と地域の方がともに活動する機会の充実
  - ・地域の人材活用、学習支援を積極的に推進
- 特別支援教育の充実
- 教職員のコンプライアンス意識の強化【些事を大切に】
- 例年通りからの脱却(ねらいを踏まえた上での実践)
- 幼児教育と小学校教育の円滑な接続(保幼小の連携)



児童が通いたくなる 保護者が通わせたい 地域が支えたい学校を目指して